「ボースデル内用液 10」服用に際して

MRCP（磁気共鳴胆道膵管造影）の検査を受けて頂く方は、検査前に MRI 用経口消化管造影剤（ボースデル）を飲んで頂きます。

この薬の作用と効果について

この薬はマンガンが含まれている液体で、MRI の検査をするときに造影剤として使います。

この薬を飲んだ後にお腹を MRI で検査すると、消化管（胃・十二指腸）と、周りの臓器（膵臓、胆嚢）との区別がはっきりしたり、膵管や胆管がはっきり見えるようになり、病気の診断や治療方法を決定する上で欠かせない情報がより得やすくなります。

次のような方は、必ず担当の医師または看護師、放射線技師に伝えて下さい。

①以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
②消化管の穿孔、またはその疑いがある。
③水分の摂取を制限されている。
④胃・十二指腸、胆嚢、胆管、膵管等の外科的手術を受けたことがある。
⑤経口抗生物質、経口抗菌剤を服用している。
⑥妊娠または妊娠している可能性がある。授乳中である。

この薬を使った後、気をつけて頂くこと。

この薬を飲んだ後に、軟便（5%以上）、下痢、腹痛、腹鳴、血清鉄低下（0.1～5%未満）などが起こることがあります。通常、特に心配いりませんが、腹痛が強い場合は医師に御相談ください。

荒尾市立有明医療センター　画像診断部　☎0968-63-1115